発 言 者	議 事
議 議 議 議 議 議 議 議 議 議 議 議	<p>[9 月 1 0 日]</p> <p>長 皆さん、おはようございます。（ 1 0 : 0 0 ）</p> <p>長 ただいまの出席議員数は 9 名であり、定足数に達しておりますので、令和 6 年第 3 回厚沢部町議会定例会を開会します。</p> <p>長 なお、4 番上戸議員から欠席の届出がありました。</p> <p>長 これより本日の会議を開きます。</p> <p>長 日程第 1 会議録署名議員の指名を行います。</p> <p>長 会議録署名議員は、会議規則第 1 1 8 条の規定により、2 番高田一弥議員、8 番松村松雄議員の 2 名を指名します。</p> <p>長 日程第 2 諸般の報告、日程第 3 一般行政報告につきましては、別紙印刷して差し上げておりますので、朗読及び説明を省略します。</p> <p>長 日程第 4 会期の決定について、議題とします。</p> <p>長 お諮りします。本定例会の会期並びに議会運営につきましては、所管の議会運営委員会において協議されておりますので、委員長から報告を求めることにしたいと思います。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）</p> <p>長 異議なしと認めます。</p> <p>長 委員長の報告を求めます。</p> <p>長 中山委員長</p>

<p>議会運営委員長</p>	<p>議会運営委員会委員長報告を申し上げます。</p> <p>去る9月4日午前10時、議会運営委員会を開催しました。</p> <p>本日をもって招集されました令和6年第3回厚沢部町議会定例会の議会運営につきましては、議事日程によることとし、会期については、本日から9月13日までの4日間とすることに決定しましたので、報告いたします。</p> <p>次に、一般質問については、1名の通告がありました。</p> <p>令和5年度厚沢部町各会計決算の認定に対する審議については、議長、上戸議員を除く8名による特別委員会を設置し、審議することとしましたので、御賛同よろしくお願いたします。</p> <p>なお、意見書案については、お手元に配付のとおり提出することにしましたので、御賛同よろしくお願いたします。</p> <p>あらかじめ関係資料をつけて御覧いただいておりますので、一括議題とし、朗読及び質疑、討論を省略することといたします。</p> <p>提出案件の審議については、質問者、答弁者とも簡潔明瞭な質疑、答弁に心がけ、円滑な議会運営が行われますよう御協力をお願いし、委員長報告といたします。</p>
<p>議長</p>	<p>お諮りします。本定例会の議会運営につきましては、委員長報告のとおりとし、会期は本日から9月13日までの4日間にしたいと思います。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）</p>
<p>議長</p>	<p>異議なしと認めます。したがって、会期は本日から9月13日までの4日間と決定しました。</p> <p>提出案件は、補正予算案2件、条例の一部改正案2件、人事案2件、専決処分の承認案1件、専決処分の報告1件、発議1件、意見書案2件、特別委員会報告1件、報告2件、令和5年度厚</p>

<p>議 議 町</p> <p>長 長 長</p>	<p>沢部町各会計歳入歳出決算認定7件の計21件であります。</p> <p>町長から提案理由の説明について発言を求められておりますので、これを許します。</p> <p>町長</p> <p>令和6年第3回厚沢部町議会定例会の開会に当たり、一言御挨拶と提案理由を申し上げます。</p> <p>岸田首相は、8月14日に、今月27日に行われる自民党総裁選に出馬しないことを表明されました。総裁選は、昭和46年の推薦人制度導入以降、立候補者が最多となる、そういう見込みであります。その後は早い段階で衆議院が解散されるとの見方が強まっておりますが、いずれにいたしましても、今後の経済対策や令和7年度の予算編成は次期政権の下で決定されることになりました。</p> <p>選挙後の国の政策動向を注視し、時期を逸することがないように、町民福祉の向上、地域経済活性化、産業振興等に係る施策を講じ、適切な対応に努めてまいります。</p> <p>今年度、これまでを振り返ってみますと、まずは猛暑対策として各施設の冷房設備設置工事が無事に進んだことが挙げられます。認定こども園の遊戯室や小・中学校の各教室など、教育委員会や消防署、国保病院の事務室など、夏本番を迎える前に整備が完了できましたことについて、安堵するとともに、工事関係者の皆様に感謝を申し上げる次第であります。</p> <p>また、町内イベントにつきましては、館城跡まつりを皮切りに、うずら綱引き祭、あっさぶふるさと夏まつりなど、各地で盛大に開催され、町ににぎわいがもたらされました。先日は、道の駅あっさぶにおいて「みちえきフェスタ」が初めて開催されました。商工会青年部を中心とした実行委員会と商業施設開業2周年を迎えた一般社団法人アッサンが実施主体となったイベントで、子供向けの縁日や段ボール迷路、餅まき、歌謡ショー、盆踊り、ビンゴ抽選会などなど、</p>
---	---

様々な催しが行われました。開催に尽力されました商工会青年部をはじめ関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

次に、農作物の生育状況についてであります。檜山振興局が発表した8月15日及び9月1日現在の農作物の生育状況によりますと、7月下旬と8月下旬の雨の影響が一部で見られるものの、目立った被害はなく、生育は全体的に順調で、馬鈴薯は小玉傾向ではありますが、水稲、大小豆など、作物全般について生育が早めに推移しているとのことであります。

今後も台風などの影響を受けることなく豊穰の秋を迎えられることを切に願うとともに、気候変動等を十分注視しながら、関係機関等と連携を図り、生産者の支援に万全を期してまいります。

次に、本定例会に提案いたします案件は、補正予算案2件、条例の改正案2件、人事案2件、決算の認定7件、専決処分の承認案1件、専決処分の報告1件、健全化判断比率等の報告2件の計17件であります。

議案第1号の令和6年度厚沢部町一般会計補正予算につきましては、1億9,787万5,000円を追加し、予算の総額を52億4,789万円とするもので、主な内容は、総務費では、緑町集会施設新築に伴う工事実施設計委託料及び土地購入費のほか、再生可能エネルギー推進事業費のゼロカーボン・モビリティ導入事業費であります。

ゼロカーボン・モビリティ導入事業は、北海道の補助事業を活用し、太陽光発電設備の設置と電気自動車を導入する事業であります。太陽光発電設備は、役場庁舎裏の防災備蓄倉庫に設置し、発電した電力を電気自動車に使用し、余剰電力は役場庁舎で利用するものであります。

民生費では、「今年度新たに住民税非課税となった世帯」と「今年度新たに住民税均等割のみ

課税となった世帯」に対する重点支援給付金及び子育て加算給付金のほか、定額減税補足給付金、障害者自立支援給付費等過年度精算返還金などであります。

衛生費では、新型コロナウイルスワクチン接種委託料、生活排水処理施設整備事業費補助金であります。

新型コロナウイルスワクチン接種の定期接種化に伴い、来年1月から予定している65以上の高齢者等を対象とした接種に要する経費などを増額するものであります。新型コロナで重症化しやすい「65歳以上の高齢者」や「60歳以上の基礎疾患がある方」については、本来であれば6,000円程度の費用がかかることが想定されますが、ワクチン接種を希望する方には、費用負担なしで受けられるよう支援するものであります。また、学校など集団生活により感染機会が多い18歳以下の児童・生徒等がワクチン接種を希望する場合、本来であれば1万4,000円程度の費用がかかるところ、6,000円で接種できるよう支援し、1人当たり8,000円程度の助成を行うものであります。

農林水産業費は、持続的畑作生産体制確立緊急支援事業費補助金、7月下旬の大雨による農道や用排水路等の小規模災害復旧事業費補助金のほか、鳥獣被害対策実施隊員の日額報酬を増額するもの、商工費は、プレミアム商品券発行事業費補助金、うずら温泉改修に伴う指定管理委託料等を増額するものであります。

議案第2号の令和6年度厚沢部町介護保険事業特別会計補正予算につきましては、介護保険事業勘定に1,995万6,000円を追加し、予算の総額を6億9,913万4,000円とするもので、介護給付費負担金等過年度精算返還金であります。

議案第3号の厚沢部町表彰条例の一部を改正する条例の制定につきましては、刑法等の一部を

改正する法律が令和 7 年 6 月 1 日に施行されることに伴い、字句の改正が必要となるため、本条例の一部を改正しようとするものであります。

議案第 4 号の厚沢部町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定につきましては、国民健康保険法が一部改正されたことに伴いまして、本条例の一部を改正しようとするものであり、本年 1 2 月に現行の被保険者証の発行が終了することに伴い、被保険者証の返還に係る罰則規定を削除するものであります。

議案第 5 号の監査委員の選任につきましては、委員の退職に伴う後任委員の選任について、地方自治法第 1 9 6 条第 1 項の規定により、議会の同意を求めるものであります。

議案第 6 号の教育委員会委員の任命につきましては、所定の任期が 9 月 3 0 日に満了することから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 4 条第 2 項の規定により、任命について議会の同意を求めるものでございます。

認定第 1 号から認定第 7 号までの令和 5 年度厚沢部町各会計歳入歳出決算につきましては、決算が終了し、監査委員の審査を了しましたので、決算審査意見書をつけて議会の認定に付するものでございます。

承認第 1 号の専決処分の承認を求めることにつきましては、地方自治法第 1 7 9 条第 1 項の規定に基づき、損害賠償に係る一般会計補正予算を専決処分させていただきましたので、同条第 3 項の規定により、これを報告し、議会の承認を求めようとするものであります。

報告第 1 号は、地方自治法第 1 8 0 条第 1 項の規定に基づき、議会の議決により指定された範囲内の損害賠償の額を定める案件について、これを専決処分させていただきましたので、同条第 2 項の規定により報告するものであります。

議
議
議
佐々木議員

長
長
長
議員

報告第2号の令和5年度健全化判断比率の報告について及び報告第3号の令和5年度公営企業会計に係る資金不足比率の報告につきましても、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定により、審査意見書を付して、それぞれ報告するものであります。

以上が本定例会に提案いたしました議案の概要であります。

詳細につきましては、副町長、関係課長に説明に当たらせていただきますので、御審議の上、御賛同賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

日程第5 一般質問の通告がありましたので、発言を許可いたします。

それでは、10番、佐々木宏議員

10番、佐々木議員

令和6年第3回定例会、一般質問をさせていただきます。

世界各地で気候異変が常態化する中、本年、日本では、7月に秋田県で記録的大雨、8月には台風10号が九州に襲来、日本各地で河川の氾濫や土砂災害、暴風被害などが多発しています。本日は、地球規模の問題に関するJ-クレジット制度の取組と促進をと題しまして、町長に質問します。

温室効果ガスの排出削減・吸収量を「クレジット」として国が認証し、取引を可能とする制度の一環で、厚沢部町所有のレクの森やたいこ山などの町有林の有効活用方策として、森林由来「クレジット」として販売する事業化に向けた取組や水田作付農業者による水稲における中干し期間の延長・取組による「クレジット」があります。水田から発生するメタンを減らす効果のある取組に向けた農業者の意識醸成が必要であり、また、温室効果ガス排出削減で享受する利益に

<p>議 町</p> <p>長 長</p>	<p>よるまちづくりが大切と考えるものです。町長の所信を伺うものです。</p> <p>町長</p> <p>佐々木議員の J-クレジット制度の取組と促進についての御質問でございます。</p> <p>J-クレジット制度は、省エネ・再エネ設備の導入や森林経営などの取組を通じた温室効果ガスの排出削減量や吸収量をクレジットとして認証する制度であり、本町におきましては、公益財団法人北海道環境財団を通じて「うずら温泉の木質バイオマスボイラー導入事業」として二酸化炭素 4 2 2 トンのクレジット認証を受け、令和 5 年 3 月に売却代金 3 4 万 9 , 3 6 0 円を受け取っております。</p> <p>御質問にあります「森林由来 J-クレジット」は、間伐等の森林経営活動による森林の炭素吸収増加量をクレジット化する仕組みであり、クレジットの販売により得られた資金を森林経営に必要な経費として活用することも可能であります。</p> <p>しかしながら、取組を進める上では、認証等の審査や吸収量算定のモニタリングの費用が発生し、これに見合うクレジットが確保できるかも検討していく必要があります。</p> <p>次に、「水稻の中干し期間の延長」につきましては、直近 2 年間の中干し期間の実施日数より 7 日間以上延長し、所定の審査を受けることで農業者はクレジット収入が見込める制度であり、クレジット支援サービスを提供する企業等を通じて取引が行われております。</p> <p>この取組は、ある程度まとまった面積や地域で行うことにより、農業者の収入確保の一つとして有用な制度と捉えておりますが、一方で、認証等に要する費用が発生すること、さらに、中干し期間の延長による収量の減少や品質低下なども懸念され、経営にマイナスとならないよう注意が必要と考えております。</p>
-------------------------------	---

	<p>町といたしましては、ゼロカーボンやカーボンニュートラル達成に向けた温室効果ガス削減の取組を進めながら、各分野でのJ-クレジット制度の活用も検討していくこととし、各関係機関の協力を得ながら、制度の周知も図りつつ、クレジット化可能なものを検討してまいりたいと考えております。</p>
<p>議 長 佐々木議員</p>	<p>10番、佐々木議員 町有林については取組の検討が必要ですというようなご答弁ですけれども、山林に関する情報収集の実態というのはどの辺まで捉えておられるのか、よろしくをお願いします。</p>
<p>議 長 農林課長</p>	<p>農林課長 森林に関する情報収集ということでございます。 森林につきましては、現在、厚沢部町内に森林計画としてあります面積が7,580ヘクタールとなっております。このうち85パーセント程度の針葉樹、また、広葉樹では残りの15パーセントというような構成となっております。 さきに作成しました厚沢部町のカーボンニュートラルビジョン、この中におきましては、二酸化炭素産出量が2万6,404トンというふうな推計をしているところであります。 以上です。</p>
<p>議 長 佐々木議員</p>	<p>10番、佐々木議員 参考までに、2万6,400トンの二酸化炭素の吸収が見込まれるということなんですけれども、そういった部分で、道のほうでも道有林のオフセットクレジット、そしてまた、既に取り組んでおられる道内の市町村協議会もあるわけですけれども、そういった部分を参考にした、幾らの単価になるかというような、その辺の見込みはあるんでしょうか。</p>

<p>議 長 農 林 課 長</p>	<p>農林課長 町内森林のクレジット化に向けた取組であります。これにつきましては、クレジットに先立ちまして、厚沢部町ではカーボンニュートラルビジョン、これを策定しております。森林吸収も含めた中で、ゼロカーボン、マイナスカーボンを実現するという計画が既にありまして、これをJ-クレジットで販売していくとなると、当初のカーボンニュートラルビジョン、この目標達成がちょっと困難となるという場合も想定されております。</p>
<p>議 長 農 林 課 長</p>	<p>ですので、森林のJ-クレジット化についてというよりは、まずはこのカーボンニュートラルビジョンの達成に向けた森林からのCO²吸収、これをビジョンの中に入れて、各種ゼロカーボンに向けた施策を実現していくということになるかと思えます。</p>
<p>議 長 佐 々 木 議 員</p>	<p>10番、佐々木議員 それでは、具体的に、企業側とのバーター取引というようなことで、需要枠が幾らあるのか、そういうような把握というのはされていないということで判断してよろしいのでしょうか。</p>
<p>議 長 農 林 課 長</p>	<p>農林課長 はい、そのとおりであります。 カーボンニュートラルビジョンにのっとって進めていくということでございます。</p>
<p>議 長 佐 々 木 議 員</p>	<p>10番、佐々木議員 町長が関係機関の協力も得ながら検討を進めたいということをおっしゃっております。その一つに、樹木の種類とか本数を含め、二酸化炭素の吸収量の大枠は捉えておるんですけど</p>

議
町

長
長

も、森林組合がより細かいそういった算定といたしますか、そういうような機能を果たすような組織体というか、そういうふうな部分ではでき得ないものなのではないでしょうか、その辺はどうでしょうか。

町長

まず、厚沢部町にどれだけクレジット化する量があるのかどうか、詳しく調べていないのかということがまず一つだと思いますけれども、これは、樹種だったり、樹齢だったり、そういうものをきちっと調査をして、それで幾ら幾らになりそうだとすることをまず決めて、それから今度業者とのやり取りということになると思うんですけれども、この制度を実施するに当たりまして、町とか森林組合で簡単にできると、そういうものではないというか、それになったら人も財も相当投入しなきゃならないということになります。

今、現在、日本でやられている他の地方自治体のやり方ということは、全てそれを調査をしてくれる、そういう会社にまず委託をします。それで、これだけになりますよ。それで、相手側の業者、買ってくれる会社とのまでやっていただくと、そういう、やっていただく会社と、あるいは大手の企業であれば、企業自ら買いますから、全部そういうのを、国の審査まで業者、大手の企業がやるというパターンの2パターンが大体今主流であります。

先日、私も道林協会の役員の研修でちょっと勉強させていただきましたけれども、同じ森林面積でも、もう単価が半分以下になるA自治体、B自治体、それだけ差があると、なぜそんなに差があるんですかという話をしたところ、やっぱり木の種類というのと、それから木を切る計画があると、そうなるとやっぱり当然下がってくるよと。また植えていく、植えていかないということもありますので、なかなか厳しいということもありますけれども、先ほど答弁もさせていただ

<p>議 長 佐々木議員</p>	<p>きましたけれども、有効な財源にもなるわけですから、先ほど農林課長がお話ししたように、ゼロカーボン、当然ゼロカーボンも厚沢部町の目標、北海道も日本もということです。クレジット化してよそへやると、よその企業にやるとなると、それは厚沢部町のゼロカーボンの数値から引かれるということもありますので、ゼロカーボンを目指しながら、そして有効な、どこまでできるか、それもきちっと調査してやっていきたいというふうに思っています。</p>
<p>議 長 佐々木議員</p>	<p>佐々木議員 温暖化防止は4つの方策があるというようなことなんですけれども、やっぱり厚沢部の一つにはJ-クレジットというかそういった取組が、今聞くとかなり遅れているなという判断をいたしました。大きな課題もあるところなんですけれども、ぜひとも取組に向けて進んでいくのが正解だろうというふうに思うところであります。</p> <p>次に、農業者の水田の中干しの関係であります。</p> <p>これにつきましては、JA厚沢部支店も4月にオンラインの北海道水田作付者全戸対象だったんですけれども、それぞれオンライン研修会がございました。町内ファクス等で組合員にも呼びかけしたところなんですけれども、参加されたのは私1人だけでした。そういったようなことで、近隣の農家仲間は、何かそういうのがあるんだぞと、興味は示しているんですけれども、具体的な内容に関してはきちっと周知していないというようなことで、やっぱり制度の周知の方策という部分で、どういうふうなことで取り進んだらいいと考えておられますか。よろしくお願ひします。</p>
<p>議 長 農林課長</p>	<p>農林課長 水田中干しに関わる農業者への周知ということでございますが、これにつきましては、私どもの</p>

<p>議長 佐々木議員</p>	<p>ほうも、農協で4月に説明会を開いて参加者が少なかったというふうなことは聞いております。そういう点も踏まえまして、まだJ-クレジット制度、中干し制度も、最近追加された取組でありますので、まだ周知が行き届いていないかと思っております。これにつきましては、折を見て農協と連携を図りながら、こういう制度があるということで、取組を考えられる農業者さんがいらっしゃるかどうか、周知を図っていきたいというふうに思っております。</p> <p>以上です。</p> <p>10番、佐々木議員</p> <p>町長の答弁で、中干し延長で、収量、品質低下の心配もされるという部分、答弁おっしゃっております。そういった部分も含めて、農協のみならず、やっぱりそういった営農技術といった部分で普及所さんも交えた町主催のそういった研修会開催が必要でないかというふうに考えるんですけれども、その取組についてはいかがでしょうか。</p>
<p>議長 農林課長</p>	<p>農林課長</p> <p>普及センターを含めた研修会の開催につきましては、必要に応じて検討してまいりたいと思っております。</p> <p>ただ、このJ-クレジット、周知を図る上では関係機関と連携しながら進めていくんですが、実際には、取引をまとめていただく企業、業者さんのほうの関係もございます。</p> <p>ですので、こういう制度がありますと、中干しについては、減収のリスクというものも言われておりますので、そういったものも周知を図りながら、研修会等を開催していくということになるかと思っております。</p> <p>また、周知に当たっては、全国8県の公的な機関で栽培試験をやられた結果では、約3パーセ</p>

<p>議 長 佐々木議員</p>	<p>ント程度やっぱり減収したというデータも出ているところでもあります。こういったものも含めまして、メリット、デメリットを含めて周知、また研修会等関係機関と実施を検討したいと思っております。</p> <p>以上です。</p> <p>10番、佐々木議員</p> <p>中干しによって3パーセント減少したというような御答弁でございますけれども、本年に限っては、むしろ中干ししたことによって倒伏防止が図られて収量増につながった年でないかなというふうに私は判断しております。</p> <p>また、業者、仲介業者と申しますか、そういった分が必要ですよということなんですけれども、北海道においては、農協系統はもうそういった仲介業者が確立しております。あと、農家の取組の方法がいろいろあります。例えば、何もしないで中干しした場合は、要するに農家の取り分が1,000円、秋起こしすると3,500円取られて、そういった取り組む体制をもう既にやるという機運になると農家に取り組める状態になっています。そんなようなことで、ぜひとも町内での研修会開催をお願いするものであります。</p> <p>あわせて、森林含め、総括した取り進めで、J-クレジット制度の活用に向けた取組実施に邁進することを切に願って一般質問を終わります。</p> <p>どうぞよろしくお願いたします。</p>
<p>議 長 議 長 議 長</p>	<p>一般質問の通告は以上であります。</p> <p>これをもって終結します。</p> <p>これより議事に入ります。</p>

議	長	日程第6 議案第1号令和6年度厚沢部町一般会計補正予算、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	総務財政課長
総務財政課長		議案第1号の令和6年度厚沢部町一般会計補正予算（第4号）の内容について説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議	長	初めに、歳入全般について質疑ありませんか。ページ数は7ページから13ページまでです。
議	長	5番、香川議員
香川議員		12ページの1目雑入になります。
		その中で、ワクチン生産体制等緊急整備基金助成金とあります。これの概要ですね、要は、助成基になるのか、それとも基金の取崩しなのか、その内容がよく分からないので、まず説明をお願いします。
議	長	副町長
副町長		名前がワクチン生産体制等緊急整備基金助成金となっておりますが、これ、あくまで国が支出して別団体に入れて国から支出を受けて、その別団体から町のほうに交付されるというものでありまして、こういった名称になっているところであります。
		中身につきましては、これから始まりますワクチンの接種費用などでありまして、支出のほうにも出てきますけれども、年齢はちょっと限られますけれども、1人当たり8,300円の助成が受けられるということで、この金額を計上しているところであります。その年齢の内訳等につきましては、支出のほうでまた説明させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたし

<p>議 長 香 川 議 員</p>	<p>ます。</p> <p>5 番、香川議員</p> <p>副町長は支出のほうで説明するという話なんですけれども、資料ナンバー 2 の 2 ページになるんですけれども、予防費の中で、二科目ありまして、1 つは予防接種法、B 類疾病、そして、下の項目が単独任意接種ということで、上の項目は、主に 6 5 歳以上、あるいは 6 0 歳から 6 4 歳で、主に、恐らく基礎疾患とか持っている方に対する助成ということだと思っんですけれども、その下が、ゼロから 1 8 歳までの学校に通われる子とか幼児に対する接種の補助だと思っんですけれども、要は、さっきのワクチン生産体制等緊急整備基金助成金というのは、上の 6 5 歳以上の方のほうだけ内訳として載っているんですけれども、それは、国ないしそういう機関からの補助の要綱で 6 5 歳以上の方にのみ補助されるという、そういう何か規定があるのかどうか、説明をお願いします。</p>
<p>議 長 保 険 福 祉 課 長</p>	<p>保健福祉課長</p> <p>6 5 歳以上の接種に関しては、予防接種法で定期接種ということになっていますので、国としてはきちんと接種をしてほしいという予防接種になっていますので、その部分に国として補助、8,300 円分をこの部分にだけ補助しますということになっています。定期接種化になっているので、そこをきちんと打ってもらいたいという意図です。</p> <p>以上です。</p>
<p>議 長 香 川 議 員</p>	<p>5 番、香川議員</p> <p>私の聞きたいところが、要は、補助の要綱として、あくまでも年齢の制限等があるから、要は 6 5 歳以上とか、6 0 から 6 4 歳までの基礎疾患とかを持つ方のみに今のこの基金助成金が出さ</p>

<p>議 副 町 長</p>	<p>れるのか、そして、なぜゼロから18歳まではこれが適用されないのか、やっぱりそういう要綱があるから60歳以上の方のほうだけ出されるのかということを知りたいんですけども、再度説明をお願いします。</p> <p>副町長</p> <p>今の8,300円のお話ですけども、国の実施要領のほうで、65歳以上と、今言われた60歳から64歳までの基礎疾患をお持ちの方の接種につきましては、国が8,300円を負担するという事になっております。</p> <p>資料ナンバーの下のほうのゼロ歳から18歳までのほうであります、接種費用は同じ14,300円という、今のところの試算の段階の話ではありますけれども、先ほどの65歳から60歳の基礎疾患のある方以外の方は、国のそういった負担がないというか、助成がない段階で、丸々14,300円を負担しなければならないということになります。</p> <p>それですと、集団生活が多いゼロ歳から18歳までですと、非常に蔓延といいますか集団感染するおそれもありますし、保護者への負担軽減、資料に書いてあるとおりではありますが、そういったこともあるということも考えまして、8,300円分を町が負担するという事で、自己負担は差引き6,000円で接種が受けられるということでこの予算を計上しているところであります。</p>
<p>議 高 田 議 員</p>	<p>2番、高田議員</p> <p>同じページの上のほうですけども、デジタル基盤改革支援補助金2,600万円ほど入るんですが、これの内容の御説明をお願いします。</p>
<p>議 長</p>	<p>総務財政課長</p>

総務財政課長	<p>こちらのほうは、国の自治体システム標準化という取組に対する補助金でありまして、今、自治体ごとにばらばらな業務システム、この仕様を全国的に統一しようという国の取組がありまして、それに係る経費につきまして、国が手当てするということであります。</p> <p>こちらにつきましては、当初予算のほうで、自治体情報システム標準化委託料2,653万2,000円、同額を計上しておりまして、それについて、全額、今回補助金の内定がありましたので、今回歳入として計上させていただきました。</p>
議 議 議 議 中 山 議 員	<p>ほかに、歳入全般について質疑ありませんか。（発言する声なし）</p> <p>それでは、次に、歳出の質疑に入ります。</p> <p>歳出は款ごとに行います。</p> <p>初めに、2款総務費について、ページ数は14ページから16ページまでです。</p> <p>1番、中山議員</p> <p>15ページになるんですけれども、ここに太陽光の発電施設等の設置工事費、それから電気自動車の購入費があるんですけれども、説明書を見ますと、電気自動車が2台ということで、あと、充電する箇所、それから蓄電池の整備とあるんですけれども、その内容をもう少し詳しく説明していただきたいと思います。</p>
議	<p>といたしますのは、太陽光のほうじゃなくて、電気自動車のほうは、大変、テレビの報道などを見ますと、過充電になった場合の事故というようなことも放映されておりますので、その辺に対する対応はどうか、また、充電施設の設置場所、これはどこにするのか、現在あるところを利用するのか、その辺についても詳しく説明していただきたいと思います。</p> <p>政策推進課長</p>

政策推進課長

議案15ページの、説明資料はナンバー1になります。ゼロカーボン・モビリティ導入支援事業ですが、こちらのほうのまず事業概要から改めて説明いたしますと、電気自動車の導入に加えて、それを電気自動車のエネルギーとして活用する電気を太陽光パネル等の設置によって賄うことにより、ゼロカーボンに寄与するというような内容でございます。

まず、電気自動車につきまして、安全性の問題ですが、そこは当然、電気自動車、私たちも使用するのは初めてなので、これからの入札になりますけれども、納入が決定した場合は、利用の方法だとかをきちんとメーカーから確認するというのは大事なことかと思えます。

また、太陽光発電なんですけれども、こちらのほうは電気自動車に活用するだけではなくて、余剰電力は役場内で消費するという事で活用させていただきます。こちらは蓄電池等も導入して、防災時にも電気自動車プラス蓄電池で対応できるような体制を、全てが対応できるわけではないにしろ、防災の観点からは大事なことだと思っております。

あと、充電器の設置場所ですが、やはり管理上の問題、安全性の問題とかを考えまして、太陽光パネルを設置する防災倉庫、こちらのほうに設置するのが妥当ではないかということで現在進めております。

以上です。

1番、中山議員

議長
中山議員

何か、ヘリコプターの騒音でちょっと聞き取れない部分があったんですけども、今、課長の説明の中で、電気自動車の安全性といいますか、これについてはどう認識しているのか、それと、もう一回、この自由放電の設備、蓄電池の整備ということで、現在ある充電器は利用できないのかどうか、また新たに設置するのか、それらについても一回説明していただきたいと思

議長
政策推進課長

ます。

政策推進課長

車両の安全性という面についてでございますが、こちらのほうは、確かに、車であり機械であるから一定程度の不具合というのにはあり得ないことではないにしろ、それが日常頻繁に起こっているという状態でもございませんので、きちんと使用方法を確認しながら適切に使用することで大丈夫ではないかと考えております。

また、充電器につきましては、現在、道の駅に急速充電器2台、普通充電器2台ということで町内にはございますが、電気自動車、充電にも時間がかかりますので、きちんと役場に充電器を設置して、きちんと使わないときに充電して次の日に使えるような体制を整えていくことも大事だと思っております。

また、北海道の補助事業を活用しますので、その要件としてきちんと太陽光パネルがあって、それがエネルギーとして車に使われるということも条件づけになりますので、その辺を満たすためにもきちんと充電設備を整えるということは必要となってまいります。

以上です。

議長
中山議員

1番、中山議員

大体は分かるんですけども、もう一度確認したいと思っております。

この電気自動車を主に庁舎並びに公務に使うということなんですけれども、例えば、町長公用車あります。そのほかにも庁舎にいろいろとあります。その辺の絡みで、電気自動車についての今後の利用といいますか、それについてはどのようにするのか、あと、道の駅にある充電器については、今後どのような活用になるのか、その辺についてももう一度説明していただきたいと思

議 長
政策推進課長

います。

政策推進課長

まず、今回2台の電気自動車導入を予定しておりますが、厚沢部町のカーボンニュートラルビジョンの中でも、やはり役場としては電気自動車をこれから順次導入していくと、可能な範囲にはなりますけれども、その計画では2030年度までに6台という計画になりまして、今回がその第一弾ということになります。町長公用車も含めて、基本的には今回2台ということで、担当課の想定では町長公用車としての活用、また担当課、日常的に公用車使っていますので、その活用、またよその課が使いたいときは使ってくださいというスタンスで、なるべく電気自動車を使っていきたいとは考えております。

また、使うだけではなくて、その電気自動車の普及のための事業、夏祭りでも今回檜山振興局で電気自動車を持ってきてくださっていましたが、そういったような使い方で、広く普及させるという意味もございまして、まずは役場が率先して導入したいと考えております。

また、次に、道の駅の充電器の話ですが、道の駅は、御存じのとおり、現在全てを壊して新しいものを建てるという改築の方向で今検討しております。その中で、位置的に現在の充電器は撤去せざるを得ないのかなと考えております。

現在の充電器なんですけれども、日本充電インフラさんというところが設置してくださっているものですが、耐用年数の10年に対して既に8年が経過していますので、移設という形にはなりませんので、道の駅には新たな充電設備を今後設置していくことを検討する必要があると考えております。

以上です。

<p>議 長 高 田 議 員</p>	<p>2 番、高田議員</p> <p>1 つ関連で、今の町長公用車に使うという考え方でいくと、おおむねで結構なんですけれども、電気が満タンになった場合に、どのくらいの距離を走行できるのかということで、町長公用車の使い方というか、ある程度決まってくるんじゃないかなというふうに思うんです。</p> <p>それが1つと、それから、同じ説明資料の上のほうなんですけれども、事業計画を変更して、保育園留学との連携に関係人口深化のための事業を実施するというので、その上の項目であるんですけれども、ここが変更せざるを得なくなったのか、変更することにしたのか、この辺の中身を教えてください。</p>
<p>議 長 政 策 推 進 課 長</p>	<p>政策推進課長</p> <p>1 点目の電気自動車の走行距離の話でございますが、当然車種によっても違うんですが、現在想定しているものは、一度の充電で500キロ程度は走れるかなと想定しております。町長公用車として使用する場合は、やはり近隣や函館等がメインになりますので、十分走れる距離だとは考えております。</p> <p>2 点目、別な事業で、地方創生事業の組替えの件でございますが、これはせざるを得ないというよりは、今事業計画を変更しようということで、内閣府にも同時に協議を進めているところでございます。</p> <p>じゃ、なぜ変更するかという中身の問題になると思いますが、保育園留学との連携ということで、現在、あっさぶメイクイン100周年記念に向けた事業もこの中にございまして、あっさぶメイクイン100周年をうたうとともに、保育園留学も実はフレーズとして次の100年を想像するということになりますので、そういった併せたPRをしていくために、株式会社キッチハイ</p>

<p>議 長 高 田 議 員 議 長 政 策 推 進 課 長</p>	<p>クと連携し、両方を一度に宣伝できるような形で事業を今組み立て直しているところでございます。</p> <p>以上です。</p> <p>2番、高田議員</p> <p>そちらの重要性はよく分かります。その重要性は分かるんですけども、当初のPR業務の委託料ですとか、こちらの事業については、全くじゃ今回で終わりという考え方でいいんですか。</p> <p>政策推進課長</p> <p>一つ一つ、落としている事業が7個程度あるんですけども、こちらの減額につきましては、現在の進捗状況を見ながら、不用となる金額を落として、また、夢現プロジェクト実行委員会の補助金に全て充てるというような内訳となっております。</p> <p>一つ一つ、PR業務委託料につきましては、やはり町単独でPR事業を実施するための経費を見ていたんですが、先ほど言ったあさぶメイクインだとか保育園留学の件で、一緒にPRをするときには夢現プロジェクト実行委員会でやったほうが効率的に行えるということで振替を行っております。</p> <p>また、アクティビティの管理業務委託料は、その下のオートキャンプ場シンク給水管増設工事とちょっとリンクしているんですが、設置工事の工期の関係で、今年度の管理委託料は不用になったことにより、こちらは増減調整しております。</p> <p>また、人材派遣業務委託料につきましては、これはオートキャンプ場でアクティビティを管理する人を派遣で賄おうという動きだったんですが、現在、オートキャンプ場のインターネット予約のシステムの構築は完了したんですが、やはり、なかなかキャンプ場の現状のスタッフとのオ</p>
--	---

	<p>ペレージョンを考えたときに、今年度ちょっといきなり派遣の者を入れるというのは難しいので、こちらについては今年度は落として来年度以降に先送りするという形で考えております。</p> <p>以上です。</p>
<p>議 長 議 長 香 川 議 員</p>	<p>ほかに、2款総務費について質疑ありませんか。</p> <p>5番、香川議員</p> <p>14ページの8目企画費の工事請負費、IRU設備移設工事費、今回この項目に関して、どこ のIR設備の移設工事となるのか、説明をお願いします。</p>
<p>議 長 総 務 財 政 課 長</p>	<p>総務財政課長</p> <p>こちらのほう、赤沼町の道道の歩道工事に伴いまして、北電柱が移設になるということであり まして、北電柱に町の光ケーブルを架けておりますので、その光ケーブルを移設する工事が必要 になったものであります。</p>
<p>議 長 香 川 議 員</p>	<p>5番、香川議員</p> <p>今回、赤沼の道路の拡幅に伴う移設ということですがけれども、ちょっと付随した質問になっ てしまうかもしれないですがけれども、あと、この町内でIRU設備を望む家庭、そして工事しな ければならない家庭といますか、その場所といますか、それはあと何軒ぐらいあるものか、説 明をお願いします。</p>
<p>議 長 総 務 財 政 課 長</p>	<p>総務財政課長</p> <p>大きな要望としては、今現在、1軒、今年度当初予算で計上しておりました相生地区の事業に なるんですけれども、そちらのほうが出来れば、大きな要望はこれで一段落という形になりま す。ちょっとずつ、新町の町内の中で1軒分足りないんだよねというのは、ちょっとした修繕工</p>

	<p>事で対応できますので、そういうのは随時対応しておりまして、大きなものは相生の1軒というところで、実は当初予算で計上しておりまして、工事を進めようとしていたところなのですが、北電さんから、今回の当初予算で計上した予算額では工事が難しいと、昨年の段階ではその金額で工事実施できるという話だったので、予算計上していたんですけども、その金額でできないと、急に今言われて事業工事を中止しているところであります。</p> <p>こちらのほう、詳細な情報を得ましたら、その段階で議員の皆さんにも報告していきたいなど考えております。</p> <p>以上です。</p>
<p>議 長 高 田 議 員</p>	<p>2 番、高田議員</p> <p>その上の14ページの委託料の件です。</p> <p>緑町集会施設新築工事実施設計委託料、協議会で説明を受けているんではありますが、この委託料を設定するに至った経緯とその内容を御説明ください。</p>
<p>議 長 建 設 水 道 課 長</p>	<p>建設水道課長</p> <p>まずは、この経緯でございますけれども、道の駅の建物、今、商業施設でございますけれども、そちらを一応建て替えるということが前提で、まずそこの部分に関して、不随して駐車場、こちらを一応町として拡張して利便性を広げていくという予定があります。その前提としまして、現在、緑町のコミュニティーセンター、こちらを建て替えしなければならないということになりました。その下にも出ていますけれども、民間の土地を購入して、そちらのほうにこちらの緑町のコミュニティーセンターに係る部分の違う建物、同様の機能を持ったコミュニティーセンターを建て替えるということで、その実施設計が必要になると。予定としましては、来年度の予</p>

	<p>算に工事費を上げて、道の駅と並行してそちらの建設も進めると。あわせて、今、道の駅に入っています森林組合であったり林産協であったり、そういう事務所の入居も併せてそういう事務所機能も持った建物としたいということでその設計を進めるという経過でございます。</p> <p>以上です。</p>
<p>議 議 議</p>	<p>長 2 款総務費の質問の途中ではありますが、11時15分まで休憩いたします。(11:04)</p> <p>長 休憩前に引き続き議事を続行いたします。(11:15)</p> <p>長 それでは、2 款総務費について質疑ありませんか。ページ数は14ページから16ページまでです。</p>
<p>議 佐々木議員</p>	<p>長 10番、佐々木議員</p> <p>14ページです。</p> <p>地方創生事業で、食と自然を体験する観光、そしてまた発信事業とありますが、委託料を含め減額になっています。これは当初計画と今後のビジョン、そしてまた減額の要因は何なのかについて説明お願いいたします。</p>
<p>議 政策推進課長</p>	<p>長 政策推進課長</p> <p>御質問いただいた地方創生事業費の組替えについてでございますが、基本的には、事業計画につきましては、昨年度計画し、内閣府に提出し、事業認定を受け、今年度事業が走っているところであります。</p> <p>事業をかなり早めにつくっておりますので、やはり事業を実行するに当たり計画変更というのは必要になってきます。そして、まず交付金の性質上、総事業費の変更は年度内には認められないという性質がございます。あと、一つ一つの経費、ある程度まとまりの項目にはなるんですけど</p>

れども、要素事業といって、その要素事業の2割増減がある場合は、変更計画を国に提出してくださいということがあります。そのタイミングが今来ていますので、議会の補正と併せて交付金の変更計画もしているところでございます。

その変更の内容ですが、先ほどもちょっと高田議員の御質問で若干答えさせていただいたんですが、まずは、保育園留学と連携した中での厚沢部メイクインのPR事業を新たに拡充していくということで、その経費が夢現プロジェクト実行委員会が必要になると、またPR等を一元化することによって効率化ができるというような形で中身を変更させていただいております。

また、減額しているものにつきましては、今年度の事業実施状況を勘案しながら、今年度については、不用となったものを減額し、その分を夢現プロジェクト実行委員会の運営費に充てているものでございます。

以上です。

10番、佐々木議員

それで、人材派遣事業というようなことで、相当期待感を持っていたんですけども、これについては実行できないということになったんでしょうか。

政策推進課長

人材派遣業務委託料につきましては、中身については、人材派遣を鶉ダムオートキャンプ場で受け入れるということで計画しておりました。今年度につきましては、インターネット予約のまず開始を優先としまして、その体制は確立できました。ただ、インターネット予約と、あとはアクティビティを導入するところまでは今年度中には難しいので、そこは来年度以降に事業計画をスライドさせていくというような考えでございます。

議 長
佐々木議員

議 長
政策推進課長

<p>議 長 佐々木議員</p>	<p>ただ、鶉ダムオートキャンプ場につきまして、何も事業をやっていないかというところではございませんで、まずインターネット予約の開始をしたというのと、あとは、キャンプ場のキャンプ用品、こちらのほうの拡充、また、魅力化を図るためのシンクの設置、流し台の設置ですね、あとは9月23日、キャンプ場の閉鎖日でございますが、こちらのほうで少し小規模のイベントを開催するような形で、今年度はこういった動きになって、残りは来年度以降ということで考えております。</p> <p>以上です。</p> <p>10番、佐々木議員</p> <p>そうしたら、当初見込んでいた補助額というのは、どの程度まで確保できるかなという部分で考えておられますか。国の補助。</p>
<p>議 長 政策推進課長</p>	<p>政策推進課長</p> <p>国からの補助につきましては、当初と全く変わらない想定でございます。そのために、今回補正予算を組ませていただいて、国に対しては事業計画の変更を提出するものでございます。</p> <p>ただ、予算どおり補助金が入るかというところではなくて、事業を実施していった中で、必ず不用額、要するに余りの金額というのが出ますので、その分は補助金も同じように減っていくということにはなります。</p> <p>以上です。</p> <p>議 長 議 長</p> <p>ほかに、2款総務費について質疑はありませんか。（発言する声なし）</p> <p>それでは、次に、3款民生費について質疑ありませんか。ページ数は17ページから18ページまでです。</p>

議	長	民生費について質疑ありませんか。（発言する声なし）				
議	長	それでは、次に、4款衛生費について質疑ありませんか。ページ数は19ページです。				
議	長	5番、香川議員				
香	川	議	員	先ほど、歳入の際にも触れさせていただきましたが、19ページ、3目の予防費のコロナワクチンの接種について、再度、歳出という形で質問させていただきたいんですけども、先ほどの説明資料等の内容を見ますと、主に65歳以上の方は無償であると、そして、ゼロから18歳までの方が自己負担額が6,000円であると、それ以外の方って自己負担額が幾らになるのか、説明をお願いします。		
議	長	保健福祉課長				
保	健	福	祉	課	長	今のところ、接種費用がまだ確定ではないんですけども、1万4,300円ぐらいかかる予定になっておりまして、19歳から64歳までの方たちは、この金額を払っていただくという形に、今のところはなっております。
議	長	以上です。				
議	長	5番、香川議員				
香	川	議	員	分かりました。		
<p>そしたら、例えば、今、説明資料を見ますと、接種時期として1月から3月を予定していると、その通知ですね、例えば主に65歳以上、あるいはゼロから18歳までの方々というのは、これ、今まで同様、はがきが行って、そこでその方が任意の接種を望むのであれば、今までの方向だとネットか何かの回線で応募したり、あるいははがきで返信とか、国保病院に連絡とかそういう形だとは思うんですけども、そういう通知がなされるものか、その辺について説明をお願い</p>						

<p>議 長 保 健 福 祉 課 長</p>	<p>ます。 保健福祉課長 香川議員がお話しされていたとおり、今までどおり、通知もしくははがきなどで取りあえずお知らせをして、また電話だったりネットでの予約を今のところは考えております。 以上です。</p>
<p>議 長 香 川 議 員</p>	<p>5 番、香川議員 6 5 歳以上の方、そしてゼロから 1 8 歳までの方、それ以外の方にも通知がなされるのか、3 問目なんで、最後の質問です。お聞かせ願いたいと思います。</p>
<p>議 長 保 健 福 祉 課 長</p>	<p>保健福祉課長 ちょっと今の段階では、まだ具体的には私たちの中でも方法を決定していないので、決まり次第、また皆さんのほうにお知らせしたいと思っています。 以上です。</p>
<p>議 長 中 山 議 員</p>	<p>1 番、中山議員 予防費、香川議員にちょっと関連するんですけども、説明書を見るとよく分かるんですけども、これを見ると、6 5 歳以上の方、6 0 歳から 6 4 歳の方々のマンドの人数というのが出ていますけれども、これ全員受けるというわけにはいかないんでないかなと思うんです。この 3 か月くらいの間の当町のコロナの感染患者というのは国保病院でどの程度押さえているのか、何かこう、我慢している方が非常に多いというような話も聞いていますんで、その 3 か月以内の当町のコロナの感染率はどの程度あるのか。 それと、ゼロ歳から 1 8 歳までなんですけれども、これ自己負担が 6 , 0 0 0 円なんですよ</p>

<p>議 長 国保病院事務長</p>	<p>ね。子供1人の子供はいいかもしれませんが、2人、3人いた場合に、非常に負担が多いということで、この辺の個人負担額を軽減できないものなのかどうか、この辺についてやっぱり、町長が言うように子育て支援というような観点から見ますと、もうちょっと支援してもいいんじゃないかなというふうに思いますので、この辺について町長の考え方をお聞きしたいと思います。</p> <p>病院事務長</p> <p>まず、コロナの厚沢部町国保病院での感染者、3か月くらいという話なんですけれども、今手元の資料にありますのは、5月20日、第21週から36週までの手元に資料があるんですけども、32週までは、ほぼほぼ、多くて4人ないし5人という感じで推移しておりました。ただし、お盆明けの8月12日から18日、これが33週なんですけれども、昨年同様に、厚沢部町の国保病院では17名というふうな形で、若干上がってきております。34週、8月19日から8月25日までは21名、その後の26日から9月1日までが22名、9月2日から9月8日までが11名、この11名につきましては、まだ道のほうでも公表されておられませんので、速報値として捉えていただきたいと思います。</p> <p>いずれにしても、お盆明けから3週間ちょっと、山はありまして、今、これからどんどん少なくなっていくのかなというふうには思っております。</p> <p>以上です。</p>
<p>議 長 保健福祉課長</p>	<p>保健福祉課長</p> <p>費用の負担に関してなんですけれども、昨年度の接種状況で、6か月から4歳はゼロ人という状態で、5歳から11歳も20.5パーセントと、接種率自体も低いといえ低いですよね。</p>

<p>議 町</p>	<p>長 町長</p> <p>なので、負担は高いんですけれども、そこはちょっと保護者の方に負担していただきたいなというふうに考えています。</p> <p>以上です。</p> <p>コロナワクチンの接種ですけれども、国のほうでは、先ほどから説明ありました65歳以上、それから60から64歳の方には国のほうの助成があるということで、それでも14,300円、まだ金額は確定しませんけれどもそれぐらいはかかるということで、町のほうでは、担当等と協議してインフルエンザワクチンと同様に、インフルエンザワクチンより高いんですけれども、町が負担をするということにしました。その中で、18歳以下の子供たちということで、先ほど課長のほうからも答弁しましたけれども、集団で感染が広がるということも大変なことになるなということで、協議してどこまで下げられるかということで、財政も相談しまして8,300円を町のほうで負担をするということで、6,000円を保護者の方に負担していただくという今回の案であります。</p>
<p>議 中 山 議 員</p>	<p>長 中山議員</p> <p>1番、中山議員</p> <p>やはり、集団生活というふうなことを考えると、子供たちの学校でのやっぱり感染というのは非常に怖いなというのと、この6,000円という金額が果たして妥当かとどうかという、私はもうちょっと下げてやってもいいんじゃないかなと思うんですけれども、今、いろいろと町のほうでも協議したようでございますけれども、やはり学校の中での、例えば接種した子供、接種しない子供、その間でいろいろやっぱり問題点が生じてくるんじゃないかなと心配するところです。その辺についての、やはり、できるならば集団感染出ないように全員が接種するというようなこ</p>

<p>議 町</p>	<p>とが重要でないかなと私は思いますけれども、今、町長の説明の中では、いろいろかなり協議したようでございますけれども、その辺についての、小学校、幼稚園、そして中学生と、この辺くらいまでは全員接種ということで、無料接種というようなことを私は進めたほうがいいんじゃないかと、そうでないと、やはり、した子供、しない子供がなかなか集団の中では差別されるんじゃないかなというふうな感じを受けておりますので、その辺についてもう一度協議をすべきでないかなと思いますけれども、いかがでしょうか。</p> <p>町長</p> <p>あくまでも任意接種であります。ですから、強制的に町が全員に打ちなさいということにはやっぱりならないというふうに思っています。それに、今大分コロナの感染も重症化しないということで、重症化しているときも、先ほど課長のほうから説明したように接種率は低いと、後遺症があったりいろんなことを親御さんが考えられるんだらうなと思いますけれども、受けるということの人のためには助成をしますということでこれを取り組んでおります。よろしくお願ひします。</p>
<p>議 議 議 浜 塚 議員</p>	<p>ほかに、4款衛生費について質疑ありませんか。（発言する声なし）</p> <p>それでは、次に、6款農林水産業費について質疑ありませんか。ページ数は20ページから21ページまでです。</p> <p>3番、浜塚議員</p> <p>20ページ、上の農業振興費でございます。</p> <p>以前にもこのような事業があったと思います。ですけれども、今回は、参考資料、説明書を見ますと、罹病率の低減ということになっております。以前は、農薬散布についても、たしかこの</p>

<p>議長 農林課長</p>	<p>ような事業の対象になったと思うんですが、なくなった理由を教えてくださいと思います。</p> <p>農林課長</p> <p>この持続的畑作生産体制確立緊急支援事業、これにつきましては、過去から実施、事業名が変わりつつ継続してやってきている事業となっております。</p> <p>毎年度補正予算対応させていただいていたものは、今回補正計上させていただいている罹病率の低減、あとはまた緊急増産対策ということで、増産に向けた取組というところも支援してきたところであります。</p> <p>今回、なぜその緊急増産分がないのかということになるかと思いますが。これにつきましては、事業上の要件で、前年と比較して何ヘクタール以上の増加面積というものがないと事業に乗れないということでありまして、そこまで種芋の作付面積が伸びていないという状況でございます。</p> <p>農薬の関係、これにつきましては、罹病率低減の中で、病気の発生を低減させる取組として防除の徹底というものを取り組んでおりますので、農薬といいますよりは、適期の防除によって罹病率を下げるという取組に対して支援をするということになっております。</p> <p>以上です。</p>
<p>議長 浜塚議員</p>	<p>3番、浜塚議員</p> <p>今、何か要綱の中に入らない、面積の基準があるというようなことでございますけれども、雨が降りますと、北海道の場合は、雨の量が多く降ることは少ないかなと思いますけれども、雨が降ることによって病気の発生が心配されるわけですよ。そんなことで、外されたということに対してはもうどうもならないと思いますけれども、その辺のことも、何ですか、要綱ですか、ある程</p>

<p>議 長 農 林 課 長</p>	<p>度弾力的なというところとちょっと問題があるかも分かりません。例えば面積を下げてもらおうとか、そういうようなことの要請というのはできないものなんでしょうかね。</p> <p>農林課長</p>
<p>議 長 農 林 課 長</p>	<p>この罹病率低減につきましては、事業実施主体は種子馬鈴薯耕作者組合、この中でやられております。この罹病率の低減対策につきましては、全ての組合員さん、やっていただいていると承知しております。罹病率の低減に向けて取り組む中で、種芋の検査等もクリアしながら、種芋の生産をしていただいているところでありまして、耕作者組合全員に、この罹病率低減の取組というものは支援されているのかなというふうに考えております。</p> <p>以上です。</p>
<p>議 長 浜 塚 議 員</p>	<p>3番、浜塚議員</p> <p>課長の説明によりますと、何か、名前を変えてというんですか、制度を変えてやろうとしているというようなことでございます。来年度もまた同じような事業というのは見込まれる予定ということは考えられますか。</p>
<p>議 長 農 林 課 長</p>	<p>農林課長</p> <p>この事業につきましては、例年国のほうで補正予算対応している事業となっております。ですので、なかなか国のほうも当初予算から反映されていないという部分がございます。</p> <p>ですので、来年度事業として残るかどうかというのは、ちょっとまだお答えできないんですけども、事業化された暁には、町としましても種芋の生産に対する支援でありますので、取り組んでまいりたいと考えております。</p>
<p>議 長</p>	<p>1番、中山議員</p>

中山議員	<p>21ページになるんですけれども、有害鳥獣の対策、隊員の日額報酬がアップされております。その中で、この最終月日は何日になるのか、これで間に合うのかどうかということと、もう一点は、現在の駆除、鹿と熊だと思えるんですけれども、その辺の実績について報告していただきたいと思います。</p>
議長 農林課長	<p>農林課長 まず、2点あったかと思えます。</p>
	<p>鳥獣被害対策に関わる予算、この日数で足りるのかという御指摘であります。これにつきましては、昨年度も実施隊員の皆様、40名程度いらっしゃいますが、積極的に見回り等をしていただいた中で、捕獲頭数の増加にもつながっているところと承知しております。</p>
	<p>日数については、どのくらい、3月の末までの日数を今見込んでおりますが、この日数で、資料としましては1,509日活動していただくということで計画しております。昨年は1,484日でありました。これに対して、今回は1,509日という予測を立てて補正予算を組ませていただいているところであります。ですので、足りるかどうかというところ、なかなか難しい御質問ではありますが、町としましては、活動していただいている実施隊員に対しては、不利益のないような支援をしていきたいと考えております。</p>
	<p>また、次に、捕獲頭数の現状であります。現在、9月9日、昨日までの時点で、熊11頭、鹿89頭捕獲されております。これにつきましては、昨年、令和5年の、なかなか9月9日というデータではないんですが、9月末の実績と比較しまして、昨年は、熊ですと24頭でありました。8月末で見ますと17頭であります。今年の11頭は少なくなって、熊の捕獲頭数は下がってきております。反対に、鹿は今回89頭なんですけど、昨年の9月末時点で70頭ということ</p>

<p>議 長 中山議員</p>	<p>で、19頭もう既に多いと、9月の中でも19頭多いという状況で、鹿の捕獲の頭数は年々増加している状況にあります。</p> <p>以上です。</p> <p>1番、中山議員 大変、やはり鹿のほうは急速に増えているというのは、私たちも見ていてそう思います。</p> <p>そういう中で、現在、町で電牧の補助を出していますけれども、今年の電牧の数、どのくらい出ているのか。</p> <p>それと、この人方の、聞けば、処理をするのが大変だというような話を聞きますけれども、その辺については、町のほうに何かそういう要望とかそういうのは来ていないんですか。</p>
<p>議 長 農林課長</p>	<p>農林課長 まず、電牧の支援であります。今年度予算としましては、30基を予算計上させていただいております。今まだ取りまとめ中ではありますが、ほぼ30基全て埋まるのかなというところであります。</p> <p>次に、処理の要望ですが、これについては、今のところ、私どものほうにそういう要望は来ておりません。今年度、1月に猟友会の皆さんと意見交換会をさせていただきました。その中でも、解体についての困っていることということはあまりその意見交換の会議の中では出ておりませんでした。また猟友会の意見も今後継続して聞きながら、もしそういったことがあれば検討してまいりたいというふうに思います。</p>
<p>議 長</p>	<p>ほかに、6款農林水産業費について質疑ありませんか。（発言する声なし）</p> <p>それでは、次に、7款商工費について質疑ありませんか。ページ数は22ページです。</p>

議 議	長 長	<p>7番、山田議員</p> <p>最後の22ページの商工費、商工振興費なのですが、プレミアム商品券の事業ですが、大変いいものだと思うんですが、この資料ナンバー1も見ていただければ分かるんですが、1組1万円、額面価格で1万3,000円ということは、プレミアム率が30パーセントなのですが、これではちょっとインパクトが小さいような感じがするんですが、以前50パーセントというのものあるんで、その辺をどう……、どうか、説明をお願いします。</p>
議 政 策 推 進 課 長	長 政 策 推 進 課 長	<p>政策推進課長</p> <p>プレミアム率の話でございますが、今回については資料に記載のあるとおり、1万3,000円分の商品券を1万円で買うということで、30パーセントのプレミアム率ということにしております。過去の推移なんですけれども、令和5年度、令和4年度、令和3年度の3年間ですね、プレミアム率が50パーセントということでやらせていただいていた。</p> <p>じゃ、今回なぜ30パーセントなのかというと、やはり以前はコロナの中で交付金等もありまして、その活用をしながらプレミアム率を高く設定し、もちろん生活支援、そして町内商工業の支援ということでやったんですが、今回については、全て議案に記載しているとおり、一般財源の中で行うということで、内部協議した結果30パーセント程度、ただ、やはり広く皆さんに買っていただきたいということで、組数につきましては、令和3年度から令和5年度と同じように4,500組ということで据え置かせていただきました。</p>
議 山 田 議 員	長 山 田 議 員	<p>7番、山田議員</p> <p>課長の今の説明は分かりましたが、何ととっても、今、物価高騰による負担軽減ということも</p>

<p>議 長 政 策 推 進 課 長</p>	<p>ありまして、町民の人、今、米買うどころか米がないという状況も続いていますので、ぜひとも、この額面ですね、3,000円から5,000円というふうに検討していただきたい、ということは、1世帯5組ですから、5枚に対して1万5,000円ですから、何とか50パーセントあれば7万5,000円になるんで、ぜひともそういう、再度検討していただければ町民の人でも大変喜ぶのではないかというふうに今思っているところです。</p> <p>あとまた、4,500組に達しない場合は、再度販売するという事によろしいですか。</p> <p>政策推進課長</p> <p>プレミアム率ですが、今回については、30パーセントということで予算計上させていただいております。確かに物価高騰等を勘案しまして今回の補正予算ということも考えておりますが、商工会ともきちんと話し合いをしまして、商工会の要請としても30パーセントで4,500組ということで要請いただいておりますので、そういったことで今回はやっていきたいと考えております。</p> <p>また、再販売につきましては、今回は9月補正ということで、商品券の有効期間が4か月ということもございまして、最初の販売が10月中旬を予定しておりますので、そこでどれくらい売れるかを勘案しながら再販売は検討せざるを得ないのかなとは思っております。</p> <p>以上です。</p>
	<p>議 長 議 長 佐 々 木 議 員</p>

<p>議 長 政 策 推 進 課 長</p>	<p>すけれども、これについては、委託している業者に購入委託するのかが1点、それと、下の業務用冷蔵庫です。経年劣化で入替えしますよということなんですけれども、これ、年数的には何年ぐらいたっておられるんでしょうか。</p> <p>政策推進課長</p> <p>まず、1点目の指定管理委託料の増額でございますが、こちらのほうは指定管理委託料を増額し、備品を買ってくださいということになりますので、現状の指定管理委託者の株式会社シードが、この指定管理委託料の範囲内でリニューアルに伴う物品を購入するものとなります。</p> <p>次、施設用備品購入費ということで、こちら、冷蔵庫を更新するんですが、こちらは22年度に導入したものであり、おおむね14年以上経過しているものでございます。</p> <p>以上です。</p>
<p>議 長 佐 々 木 議 員</p>	<p>10番、佐々木議員</p> <p>以前から、うずら温泉については町の財産ですよというようなことをおっしゃられております。物品等の納入のノウハウを職員が持ち合わせていないから指定管理者に委託するということなんですけれども、本来の町所有の財産であるということをお勧めすると、町側がやっぱりきちっとそういった見積りなり何なりして備品購入するのが建前でないかなというふうに私は思うんですけれども、その点についてはいかがなものでしょうか。</p>
<p>議 長 政 策 推 進 課 長</p>	<p>政策推進課長</p> <p>まず、備品購入、なぜ町が行わないのかという点についてでございますが、今回は客室のリニューアルに伴う備品購入ですので、その客室の、例えば壁紙の雰囲気やら実際改修後の雰囲気というのを見ながら購入するとなると、町の備品購入だと、どうしても入札、入札案内、その前に</p>

<p>議 長</p> <p>佐々木議員</p> <p>議 長</p> <p>議 長</p> <p>議 長</p> <p>議 長</p>	<p>設計ですね、入札手続とかいうことで相当時間もかかりますので、リニューアル期間3か月の中でそろえなきゃいけないということで、今回こういう形を取らせていただきました。</p> <p>先ほどノウハウということも言われたんですけども、うずら温泉には現在コンサルも入っております、佐々木議員御指摘のとおり、ノウハウは、そのコンサルのほういろんなホテルを見てきているのであるのかなと思っております。</p> <p>また、町の財産という点についてですが、町の財産でありますので、こちらは指定管理委託料を支出して購入したものは、株式会社シードに帰属するんじゃないかということになるんですけども、そういうわけではございません。指定管理者の基本協定、5年間の協定の中では、物品についてはⅠ種、Ⅱ種と分けておりまして、Ⅰ種については町が直接買ったもの、Ⅱ種については指定管理委託料でシードが買ったもの、その2種類につきましては、施設に帰属するということになりますので、最終的には町の財産ということになります。</p> <p>以上です。</p> <p>10番、佐々木議員</p> <p>私、購入のノウハウというのは、シードでなくして職員が持ち合わせていないから委託業者にするんでしょうということで申し上げました。分かりました。今回は、工事に伴う短期間で物品購入もしなきゃいけないというようなこともございますので、納得した次第であります。</p> <p>ほかに、7款商工費について質疑ありませんか。（発言する声なし）</p> <p>質疑を終結します。</p> <p>討論に入ります。（ありませんの声あり）</p> <p>討論を終結します。</p>
---	---

議	長	議案第1号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。したがって、議案第1号令和6年度厚沢部町一般会計補正予算は原案どおり可決されました。
議	長	議事の途中ではありますが、休憩して昼食といたします。
議	長	午後は13時から再開いたします。（11：53）
議	長	午前中に引き続き議事を続行いたします。（13：10）
議	長	日程第7 議案第2号令和6年度厚沢部町介護保険事業特別会計補正予算、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	保健福祉課長
保健福祉課長	長	議案第2号の令和6年度厚沢部町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）の内容について御説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議	長	歳入歳出全般について、質疑ありませんか。ページ数は4ページから5ページまでです。（発言する声なし）
議	長	それでは、質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。（ありませんの声あり）
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第2号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）

議	長	異議なしと認めます。したがいまして、議案第2号令和6年度厚沢部町介護保険事業特別会計補正予算、原案どおり可決されました。
議	長	日程第8 議案第3号厚沢部町表彰条例の一部を改正する条例の制定について、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	総務財政課長
議	長	議案第3号の厚沢部町表彰条例の一部を改正する条例の制定について御説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。（ありませんの声あり）
議	長	質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。（ありませんの声あり）
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第3号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。したがいまして、議案第3号厚沢部町表彰条例の一部を改正する条例の制定について、原案どおり可決されました。
議	長	日程第9 議案第4号厚沢部町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	住民税務課長

住 民 税 務 課 長	議案第4号の厚沢部町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について御説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議 長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。（ありませんの声あり）
議 長	質疑を終結します。
議 長	討論に入ります。（ありませんの声あり）
議 長	討論を終結します。
議 長	議案第4号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）
議 長	異議なしと認めます。したがいまして、議案第4号厚沢部町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について、原案どおり可決されました。
議 長	日程第10 議案第5号監査委員の選任について、議題といたします。
議 長	松村松雄議員につきましては、地方自治法第117条の規定により、除斥の対象となりますので、退席を求めます。（松村松雄議員退場）
議 長	提案理由の説明を求めます。
議 長	町長
町 長	議案第5号の監査委員の選任について御説明いたします。（提案内容説明記載省略）
議 長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑ありませんか。（ありませんの声あり）
議 長	質疑を終結します。
議 長	議案第5号、討論を省略して原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）

議	長	異議なしと認めます。したがいまして、議案第5号監査委員の選任について、原案どおり同意することに可決されました。（松村松雄議員入場）
議	長	日程第11 議案第6号教育委員会委員の選任について、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	町長
町	長	議案第6号の教育委員会委員の選任について御説明申し上げます。（議案内容説明記載省略）
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑ありませんか。（ありませんの声あり）
議	長	お諮りします。本件につきましては、人事案件でありますので、討論を省略し、直ちに採決したいと思います。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認め、直ちに採決いたします。
議	長	議案第6号教育委員会委員の選任につきましては、原案のとおり、厚沢部町本町94番地8、佐藤祐子氏、昭和37年3月26日生まれ、62歳を教育委員会委員として選任することに賛成の方の起立を求めます。（賛成者起立）
議	長	起立全員であります。したがいまして、議案第6号教育委員会委員の選任につきましては、原案どおり可決されました。
議	長	日程第12 承認第1号令和6年度厚沢部町一般会計補正予算の専決処分の承認を求めることにつきまして、議題といたします。
議	長	専決処分書の説明を求めます。
議	長	総務財政課長
総務財政課	長	承認第1号の令和6年度厚沢部町一般会計補正予算（第3号）の専決処分の承認を求めること

		について説明いたします。（専決処分書説明詳細省略）
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑ありませんか。（発言する声なし）
議	長	承認第1号、討論を省略して、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。したがいまして、承認第1号令和6年度厚沢部町一般会計補正予算の専決処分の承認を求めることにつきまして、原案どおり可決されました。
議	長	日程第13 報告第1号損害賠償の専決処分の報告について、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	政策推進課長
政策推進課	長	報告第1号の損害賠償の専決処分の報告について説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑ありませんか。（発言する声なし）
議	長	報告第1号損害賠償の専決処分の報告について、報告済みといたします。
議	長	日程第14 発議第1号厚沢部町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	1番、中山議員
中山議員		発議第1号厚沢部町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議	長	お諮りします。本条例の制定につきましては、さきの議員全体会及び議会運営委員会で協議されておりますので、質疑、討論を省略して、原案どおり決したいと思います。これに御異議あり

議	<p>長 異議なしと認めます。したがいまして、発議第1号厚沢部町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について、原案どおり可決されました。</p>
議	<p>長 日程第15 意見書案第1号、日程第16 意見書案第2号の2件を一括議題にしたいと思いをます。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）</p>
議	<p>長 異議なしと認めます。</p>
議	<p>長 お諮りします。意見書案第1号及び意見書案第2号につきましては、議会運営委員会で協議し、提出することに決定しております。したがいまして、あらかじめ配付しておりますので、朗読、質疑及び討論を省略して、原案どおり決したいと思いをます。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）</p>
議	<p>長 異議なしと認めます。したがいまして、意見書案第1号道教委「これからの高校づくりに関する指針」を見直し、すべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書及び意見書案第2号国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書の2件につきましては、原案どおり可決されました。</p>
議	<p>長 日程第17 報告第4号議員定数等調査特別委員会の調査報告について、議題とします。</p>
議	<p>長 委員長の報告を求めます。</p>
議	<p>長 佐々木委員長</p>
特別委員長	<p>それでは、議会定数等調査特別委員会委員長報告を申し上げます。</p> <p>特別委員会の調査結果については、別紙の議員定数等調査特別委員会報告書のとおりであります。なお、報告につきましては、報告書の内容を要約の上、報告するものとしたします。</p>

初めに、特別委員会構成であります。特別委員会は議長を除く9名で構成し、鈴木議長はオブザーバーとして委員会会議に出席しております。

次に、特別委員会の調査及び協議内容としては、1、議員定数、2、議員報酬について、3、議会のインターネット配信の実施について、4、議会のデジタル化（ICT化）について、5、議会モニター制度の導入についての5点をテーマとして、第1回委員会を令和5年10月13日に開催し、令和6年8月28日開催の第8回委員会において報告書を取りまとめております。また、令和5年11月18日には、松前町議会へ先進地研修として視察を実施しております。

なお、その間に町民から意見をいただく機会として、議員定数等の見直しに関わる町民懇談会を開催し、議員定数、議員報酬及び議会のインターネット配信について、また、その他議会全般に関わる意見等の4つについて意見をいただいております。

次に、調査した内容について報告します。

1つ目のテーマは、議員定数についてですが、全国及び全道における人口3,000人の定数の平均を全国町村議会議長会調査による第69回町村議会実態調査（令和5年7月1日現在）を活用し、定数の全道平均は9.53人、全国では9.55人であり、当町との大きな差は生じていないことを確認しました。単純に人口規模のみだけでは議員定数を判断することは難しい状況であり、当町の実情に合った定数が必要と判断し、協議となりました。

2つ目のテーマは、議員報酬についてですが、報酬についても、定数と同様に、さきの全国調査を活用した結果では、一般議員報酬月額、全道平均で17万5,147円、全国平均では18万6,436円であり、全国平均では1万5,000円ほど少ないとの結果でありました。

なお、近年は、議員成り手不足対策として議員報酬を引き上げる市町村が増えてきておりま

す。特に渡島管内では全体の半数である5町で報酬の引上げを行っているのが現状となっています。

3つ目のテーマは、議会のインターネット配信の実施についてですが、議会のインターネット配信については、議会報告会においても何度となく問われていたことでもあります。近隣市町村では、研修視察を行った松前町を含め渡島管内は全市町で6年度から実施、檜山管内では既に今金、せたな町が実施しています。また、江差町においても既存機器の改修の上、本年9月から実施を目指している状況となっています。

4つ目は、議会のデジタル化（ICT化）についてですが、議会のデジタル化については、研修視察した松前町議会では、ペーパーレス化等を目的に、全議員及び議会出席者を対象にタブレットPCを38台購入し、令和3年度から運用を開始し活用しておりました。しかしながら、導入費用は、近年のPC機器の高騰により、少なく見積もっても出席者分、機器本体30台購入で360万円程度となります。また、タブレットの操作などの対応についても考えつつ、方向性を見出すこととしました。

最後のテーマの議会モニター制度の導入についてですが、松前町議会での研修視察において確認した制度ではありますが、議会議員への関心を高めていることは確認できています。また、松前町では、議会モニターの中から議員も誕生しています。なお、町民からの意見・要望などを広く聴取できる機会であることを確認しております。

議員定数等の見直しに係る町民懇談会開催における意見集約についてですが、議員定数については、3地区会場とも現状定数での異論意見はない状況でありましたが、鶉地区では、一部に定数2名減にすべきという意見と、定数2名増にすべきという意見もありました。

議員報酬については、下地区では、資料提示した報酬額には異論はありませんでしたが、一般議員 21 万円程度では、若い世代では議員報酬のみでは厳しいのではという意見がありました。

鶉地区及び館地区に提示した報酬額について、特に異論意見はない状況でありました。

議会のオンライン発信の実施については、特に 3 地区において配信実施についておおむね好評を得ていました。

最後になりますが、特別委員会としての提言報告となります。

令和 6 年 3 月に報告された「町村議会議員の成り手不足に潜む 3 つの危機～議会の取組と幅広い協働により地方自治の未来を創ろう～」全国議長会発行の町村議会議員の成り手不足対策では、定数とは、そもそも住民の多様な意見を議会に反映するため、何人の議員が必要か、議会が合議制機関としての機能を十分に発揮するために何人の議員が必要かを出発点として考えるべきであり、選挙の実施とは無関係の事柄であるという報告提言がされています。

しかしながら、現状では、近隣町村においても定数を削減している状況もあります。また、議員報酬についても、同報告書によると、低額な議員報酬の改善は、成り手不足対策として非常に重要であるが、目先の選挙戦実現を急ぐあまり、新しい報酬額に見合う活動内容や活動量の裏づけを取らないまま増額に踏み切ってしまうと、住民からの不信感を招く。さらに、近年では、議員報酬引上げの代わりに議員定数を減らす議論を行っている議会も散見される。議員報酬を 2 割増額するために定数を 2 割削減といったような論理であるが、そもそも報酬や定数の根拠は何かという根本的な考えが欠如しており、本来、両者は別の問題として議論されるべきものであると報告提言されています。

また、北海道町村議会議長会では、令和 6 年 6 月 11 日に開催された第 75 回定期総会におい

て、議員報酬の適正化に関する特別決議がなされ、その中で、活動内容を踏まえた原価方式等を議員報酬に算定する方法が決議されています。

以上のことを踏まえ、本特別委員会として、以下のとおり報告、要望するものであります。

初めに、議員定数については、本特別委員会として、人口減少傾向を踏まえ、また近隣町村の状況を踏まえると、定数は10名から1名減の9名と報告します。

なお、今回の定数削減に伴う常任委員会については、引き続き2委員会体制を維持するものとし、現状は議長が選任後において常任委員会を辞退しているが、今後は副議長とともに2つの委員会へ選任指名するものとし、各常任委員会の定数は6名に改正します。

また、本委員会では、今後は、議員定数は9名を維持していくことが望ましいとの結論に至っております。

2つ目の議員報酬については、議員報酬は、平成18年に報酬額5パーセント削減を実施した以降、見直しはしておらず、町村議会議長会報告によると、全国の町村議会において報酬額が据え置かれたままであり、さきの特別委員会の調査のとおり、当町の報酬額については、全国平均を下回っている状況でもあります。そこで、今回は、議員の活動日数と首長の活動日数を比較し、その活動内容を町民に明示することを通じて、議員報酬を考える全国町村議会議長会作成の原価方式の算定モデル（令和4年モデル）により議員活動の内容を整理確認した結果、以下のとおり算出された報酬額を基準にされますよう、報告要望するものです。

算定モデルにより、当町議会議員の活動日数の平均は85日となり、一般議員報酬額は、月額21万3,000円となり、現行から4万2,000円の増額となりました。その基本額に議長会が調査している役職者の議員報酬の実態（令和元年度）に基づき、議長は29万円で6万2,

000円の増額、副議長は23万5,000円で4万1,000円の増額、各委員長は21万9,000円で4万2,000円の増額報酬額と算定いたしました。

なお、算出の基礎となった議員活動日数については、令和5年中の厚沢部町議会一般議員の活動日数を調査した平均日数であります。

また、報酬額の算出根拠については、報告書に添付しました資料1「原価方式の算定モデル（令和4年モデル）による議員報酬額の算出について」を参照願います。

3つ目のインターネット配信の実施については、当町におけるインターネット配信については、有効性が確認できることから、実施に向けて設置設備導入に係る工事費用の予算措置を要望することとしました。この配信設備導入は、第3回特別委員会において早急な実施が必要であるとの結論から、同委員会終了後、令和5年12月18日の議長、委員長及び議会事務局長が、直接、町長及び副町長に映像設備設置について要望を行っており、その結果、町長の迅速な判断により、令和6年度の当初予算に計上され、令和6年7月には完成となりました。

今後、議会としては、配信に係る運用規定などを整備するとともに、配信に係る操作事務及び配信状況の事前確認を進め、令和6年10月1日から同時配信及び録画配信を開始するものとします。

なお、改めて、町長の迅速な予算対応に感謝するものであります。

また、配信に係る規定等については、資料2「厚沢部町議会中継の実施に関する要綱」を参照願います。

4つ目の議会のデジタル（ICT）化については、今回視察した松前町議会では、過去を含めた議会関連資料がデータ化されて簡単に検索が可能となり、議案等の製本に係る職員の仕事時間

議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑ありませんか。（ありませんの声あり）
議	長	質疑を終結します。
議	長	報告第2号令和5年度健全化判断比率の報告について、報告済みといたします。
議	長	日程第20 報告第3号令和5年度公営企業会計に係る資金不足比率の報告について、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	総務財政課長
議	長	報告第3号の令和5年度公営企業会計に係る資金不足比率の報告について説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑ありませんか。（ありませんの声あり）
議	長	質疑を終結します。
議	長	報告第3号令和5年度公営企業会計に係る資金不足比率の報告について、報告済みといたします。
議	長	お諮りします。日程第21 認定第1号から日程第27 認定第7号までの7件の令和5年度厚沢部町各会計歳入歳出決算の認定について、一括議題にしたいと思えます。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。したがって、日程第21 認定第1号から日程第27 認定第7号までの7件の令和5年度厚沢部町各会計歳入歳出決算の認定につきまして、一括議題とすることに決定しました。
議	長	令和5年度厚沢部町各会計歳入歳出決算審査意見書につきましては、あらかじめ配付されてお

議	<p>りますので、朗読を省略します。</p> <p>長 お諮りします。ただいま上程されました令和5年度厚沢部町各会計歳入歳出決算の認定につきましては、議長、上戸議員を除く令和5年度厚沢部町決算審査特別委員会を設置の上、同委員会にお手元に配付のとおり、地方自治法第98条第1項の権限を委任し、これに付託の上、審査したいと思います。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）</p>
議	<p>長 異議なしと認めます。したがいまして、令和6年度厚沢部町決算審査特別委員会を設置の上、同委員会にお手元に配付のとおり、地方自治法第98条第1項の権限を委任し、これに付託の上、審査することに決定しました。</p>
議	<p>長 ただいま設置されました決算審査特別委員会の正副委員長の選出方法についてお諮りします。選出方法につきましては指名推選とし、指名の方法は議長において指名することにしたいと思います。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）</p>
議	<p>長 異議なしと認めます。したがいまして、決算審査特別委員会の正副委員長の選出方法につきましては指名推選とし、議長において指名することと決定いたしました。</p>
議	<p>長 令和6年度厚沢部町決算審査特別委員会の委員長に高田一弥議員、副委員長に香川直樹議員を指名します。</p>
議	<p>長 ただいま議長が指名のとおりに決することに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）</p>
議	<p>長 異議なしと認めます。したがいまして、令和6年度厚沢部町決算審査特別委員会の委員長に高田一弥議員、副委員長に香川直樹議員と決定いたしました。</p>
議	<p>長 ただいまから、決算審査特別委員会開会のため、特別委員会終了までの間、本会議を休会いたします。（14：00）</p>